

NACCSプログラム変更要望一覧（2022年度分）（2022年度実施案件）

※グレーにハイライトは重複案件

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R03-028	貨物	CAI01	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない為、0.1KG単位であっても訂正出来るようにして頂きたい。	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない。	重量訂正する際に0.1KG単位であった場合に訂正が出来ない為、0.1KG単位であっても訂正出来るようにして頂きたい。	CAI01 輸入貨物情報変更登録にて重量訂正が0.1KG単位で訂正する際に便宜上、数キロ単位を上げて訂正した後に、正しい重量へ変更している為、手間となっている。	CAI01業務にてACH業務で登録された重量と同一の値に訂正可能とする。
R03-032	貨物	CAS	海上貨物においてシステムで併せ運送兼用で行われたIS承認手続きについて、蔵入先保税地域を管理する利用者が到着確認できるようにしてほしい。	海上貨物において、IS承認済貨物管理をNACCSで行わない蔵置場でIS承認し貨物情報削除後、当該蔵置場からセカンドIS（併せ運送兼用）で転送された貨物を搬入する際、システムでの到着確認はできず、マニュアルでの到着確認手続きが必要になっている。	貨物情報削除後のIS承認貨物（併せ運送兼用）の到着確認手続きについて、航空貨物のBAS同様、海上貨物についても蔵入先保税地域を管理する利用者が到着確認手続きができるよう新規業務を追加してほしい。運用は以下の通りとする。 ・貨物情報ありの場合 BIAで到着確認 ・貨物情報がない場合 新規業務で到着確認	到着確認手続きのため税関へ行く必要がなくなる。	海上貨物についても航空貨物と同様に、航空用既存業務である「蔵入等航空貨物到着確認（BAS）」業務と同様の業務にて蔵入承認併せ運送に係る到着確認を可能とする。
R03-093	貨物	PUO	再送防止機能の実装	送信後、業務メッセージ欄に「COMPLETE」が出て再送可能になっているため、F12を押すと何度でも送信されてしまう。	再送防止機能を付けて欲しい。当該業務は、照会業務ではなく”情報登録”業務なため、1送信1返信後は他の登録業務同様の仕様変更を希望する。	誤送信・誤課金の防止、誤課金による搬出時の料金訂正工数の削減	PUO業務の送信後、業務メッセージ欄に「COMPLETION」が出力された場合は、パッケージソフトの「再送防止機能」を設定する。
R03-100	貨物	VAN、BOCなど	搬出業務において、送信時のエラー処理の設定変更	同じ貨物管理番号において、搬出日が、BIC処理時の搬入日より前の日付で入力しても送信可能になっている。	左記内容の場合は、エラー処理とし、送信不可にして頂きたい。	入力ミスを防ぐ為。	貨物搬出業務の搬出年月日について、対象貨物の搬入日より前の年月日を入力した場合はエラーとし、登録不可とする。
R03-276	通関	MSX	EAC後の1Y書類のMSXでの送信を可能してほしい	MSX送信不可（原本提出）	当初申告区分1→許可後訂正後に1Yとなった申告について、MSXで書類を送付できるようにしてほしい	原本を提出する必要がなくなる	EAC業務時に審査区分が「1Y」となった場合も、MSX業務で書類の提出を可能とする。
R03-277	通関	MSX	EAC後の1Y書類のMSXでの送信を可能してほしい	MSX送信不可（原本提出）	当初申告区分1→許可後訂正後に1Yとなった申告について、MSXで書類を送付できるようにしてほしい	原本を提出する必要がなくなる	EAC業務時に審査区分が「1Y」となった場合も、MSX業務で書類の提出を可能とする。
R03-280	通関	MSX	輸出許可後訂正後のMSXを可能にしてほしい。	許可後訂正後にMSXができない為、書類を税関窓口提出している。	区分1Y許可後に船名変更等の許可後訂正をした後でも、MSXができるようにしてほしい。	業務効率化の為	EAC業務時に審査区分が「1Y」となった場合も、MSX業務で書類の提出を可能とする。
R03-388	その他		元に戻す、ボタンについて。	挙動が不安定。 AAAAA BBBBB CCCCC DDDDDDD と入力し、Dのみをすべて削除したあと元に戻すボタンを押すと、当該入力ボックスの入力データがすべて消える。もう一度もとに戻すボタンをおしても消してしまったDは再入力されない。まともなアンドゥの実装を要望する。			パッケージソフト業務画面の編集内容の履歴を保存し、過去の編集履歴をさかのぼること（アンドゥ）を可能とする。また、アンドゥを取り消すこと（リドゥ）も可能とする。

NACCSプログラム変更要望一覧（2021年度分）（2022年度実施案件）

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R02-109	通関	EAA, EAB	輸出許可後の大額から少額への変更	輸出許可後、大額→少額の変更（訂正）ができないので汎用申請によるマニュアルで対応している	大額から少額への輸出許可内容変更（数量変更等）がシステムでできるようにしてほしい	中古車輸出に於いて船積みキャンセルによる輸出の一部取りやめが多く、税関から申告は極力システムで行うよう言われている	EAA業務において、「大額・少額識別」の変更を可能とする。

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R02-151	通関	IDA IDC	17条免税の案件で、酒税の個別延納と減免税コード（11713/17条 再輸出免税輸出容器）がNACCS上でリンクができず、別離申告をしなくてはならないため改善したい。	ビール樽の17条免税の案件ですが、酒税の個別延納と減免税コード（11709/17条 再輸出免税輸入容器）がNACCS上でリンクができず、どうしても別離申告をしなくてはなりません。税関の説明では、容器免税（17条）は必要担保でなく、任意担保なので実際には担保を積まなくてもいいのですが、個別担保（この場合ビール液）に反応してしまうらしく、減免税コードの申請があるにも関わらず、個別担保は17条の担保が積まれていない。とエラーになってしまいます。 個別担保に、容器免税としての担保を実際に積みよいか確認したのですが、積むことはできるけど、NACCSのエラーは税関で改善できない。NACCSセンターの仕様の問題になる との回答でした	輸入申告で、酒税（ビール）、容器、を1件のIDC NACCSで申告できる仕様に変更頂きたい。	容器の別離申告は、マニュアル申告となり、税関へ直接持ち込みが発生している。弊社では、17条減免税で現象が発生しているが、その他の減免税コードと個別担保（任意）でリンクできない案件があるのではないかと思われる。	納期限延長を使用する品目と再輸出免税（関税定率法17条）を適用する品目を一申告で行うことを可能とする。
	貨物	TDC	「包括保税運送申告（TDC）」業務の「到着地」欄が5欄しかないため、30欄程度まで増やしてほしい。				TDC業務の「到着地」欄を30欄程度に増やす。
	貨物	IWI	貨物情報が多い蔵置場において「保税蔵置場在庫状況照会（輸入）（IWI）」業務で在庫状況を照会すると、システム処理が完了できずタイムアウトとなる場合がある。		貨物情報が多くても当該照会業務を実施できるようにする必要がある。		IWI業務のタイムアウトを低減することを目的として、索引検索処理を変更する。